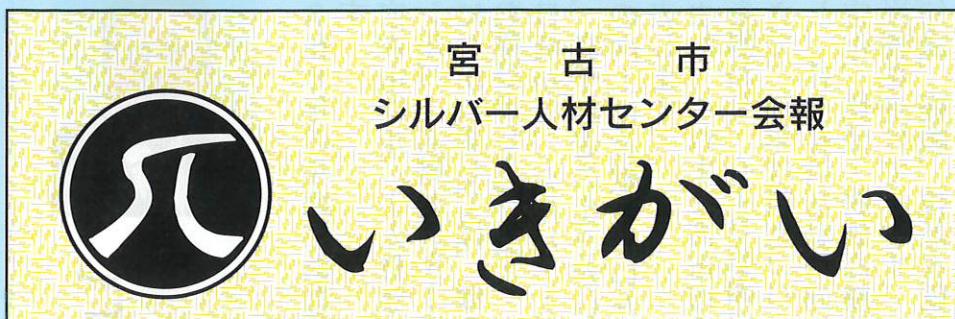


## 働くよろこび、社会参加の輪を拡げよう

令和6年1月15日 発行



発行所  
公益社団法人  
宮古市シルバー人材センター  
〒027-0028 宮古市神林3-1  
電話 (0193) 63-7443  
FAX (0193) 64-3285  
HP <https://webc.sjc.ne.jp/miyako/>  
編集会報編集委員会



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様、ご家族の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症が世界的流行となつてから四年目となりました。昨春にマスクの着用は個人の判断となり、さらに五類に移行となり、濃厚接触者というのもなくなり、コロナ以前に戻りつつあります。しかし、インフルエンザが流行し、学校閉鎖などが目立つこの頃です。

世界情勢を見ますと、ロシアのウクライナ侵略に続いてイスラエルでの戦争など平和とは程遠い情勢ですが、一日も早く平和を取り戻してほしいものです。

また、私たちを取り巻く状況は、ガソリンや灯油をはじめ食品などの生活に直結する物価高騰により厳しい年となっています。

当センターの状況におきましては、事業実績は若干減少したものの、全体的には上向き傾向にあります。これから寒さ厳しくなる冬季間、交通事故や転倒事故等に遭わないように、起こそないように細心の注意をお願いします。

結びに、常日頃種々ご支援いただいております行政機関並びに市民の皆様に心より感謝申し上げ、会員の皆様のご健勝とご活躍、ご発展をご祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。



新年のご挨拶  
理事長 福島 清春

公益社団法人  
宮古市シルバー人材センター



## ご挨拶

宮古市長 山本正徳

令和6年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

宮古市シルバー人材センターの会員、役職員の皆様、並びにシルバー人材センターにご尽力いただいている関係者の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

日頃から、シルバー人材センターの皆様におかれましては、高齢者の生きがいの充実と、地域社会の活性化や福祉の向上に貢献していただいておりますことに、深く敬意を表します。

また、これまで宮古市の発展のため、様々なご支援、ご協力を賜わり、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、社会経済活動の回復が見られた一方で、国際情勢の不安定化、燃油・物価高騰等により、地域経済は今もなお大きな影響を受けています。このような中、高齢者の皆様の豊かな知識、経験、技能を就業に活かしてのご活躍が期待されています。シルバー人材センターの役割は重要な役割となっています。

会員の皆様が、地域社会の多様なニーズに応えるながらご活躍いただき、生きがいを持つて暮らすことができる社会となるよう、宮古市は「宮古市総合計画」に掲げる市の将来像「森・川・海」とひとが調和し共生する安らぎのまちを目指してまいります。

結びに、宮古市シルバー人材センターの今後のこととご発展と、それを支える会員、役職員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

## 謹んで新年のごあいさつを申し上げます

令和六年 元旦

### 公益社団法人宮古市シルバー人材センター

#### 安全・適正就業対策推進委員会委員

佐々木 克己	佐々木 馨	岩間 富雄	上田 巖	遠藤 良雄	三河 純子	細越 賢太郎	委員長
--------	-------	-------	------	-------	-------	--------	-----

#### 会報編集委員

岩船 ハナミ	三浦 真知子	太田屋 滋	委員長
--------	--------	-------	-----

#### 役員・職員

福島 清春	飛澤 壽男	三浦恵美子	理事
太田屋 滋	熊谷 正	小野寺 光	理事
遠藤 良雄	齊藤 悟	中野奈津美	理事
三浦真知子	坂下 光明	吉田 稔	監事
理 事	古館 瞳	嘱託職員	監事
三河 純子	山口 周	臨時職員	主事
理 事	常川 芳江		主事
細越賢太郎	大森 義明		主任
副委員長			
委員			
副委員長			
委員			
委員長			

本年もよろしくお願ひいたします。

## 安全パトロールの報告



日 時 令和5年10月23日(月)  
午前10時～午前11時30分

内 容 草刈、芝刈、剪定の作業現場3箇所  
作業中に蜂の巣があり駆除をし、様子を見ながら  
作業を再開しました。飛散防止ネットの設置、安  
全帯を装着して安全措置を取って作業するよう周  
知徹底しました。

実施役員 上田 巖委員・事務局

7月から月1回、就業現場の安全パトロールを実施しました。今後は冬本番の季節となります。感染症予防対策の徹底や、就業場所への移動の際には交通安全に気を付けてましょう。

## 「宮古市への要請活動」報告

日 時 令和5年10月25日(水)  
午前10時～11時

場 所 市役所4階応接室

実施役員 理事長 福島 清春  
副理事長 太田屋 滋  
理事 三浦真知子  
(田老学童の家 館長)

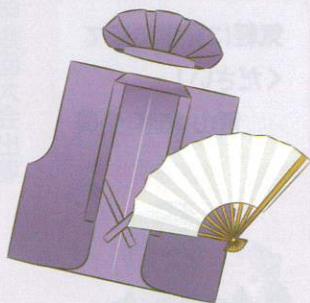
対応者 事務局長 山口 周  
副市長 桐田 教男 氏  
産業振興部長 岩間 健 氏  
産業振興センター  
商業労政係長 工藤 翠 氏



## 喜寿記念品贈呈について



令和5年12月7日(木) 喜寿  
祝いの記念品の贈呈式を執り行  
いました。  
該当会員19名の代表として、  
金澤純二会員に贈呈をいたしました。



喜寿の皆様 おめでとうございます。

# 辰年の抱負

辰年生まれの年代別会員数(計30名)

昭和15年生まれ 男性会員3名、女性会員1名 計4名  
昭和27年生まれ 男性会員16名、女性会員10名 計26名

毎日毎日生かされての積み重ねがこの年齢となりました。

抱負になるか、これから生き方は自由な時間を自分のやりたいことを自分なりに考え、やれる範囲で楽しみながら一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。手始めにパソコン教室に通っています。

山根 吉一

特にありませんが働くだけ働くだけです。

佐々木 壽郎

新年に思うことは『無病息災』。残念なことに私はもれなく生活習慣病なので『一病息災』でしょうか。努力して現状維持を目指します。

昨年は草刈り作業の疲れで両足をツルこと2日連続。また交通事故にも会いました。

「油断大敵」、そして「和顔愛顧」の精神で穏やかに暮らしていけることを望みます。

△コダワリ年賀状  
私は年賀状を半世紀に亘り拘わって作ってきました。奇しくも今年の年賀状



6度目の年男となり、加齢による体力低下等、マイナス面を多く感じるので自分自身の現状を理解し周囲に迷惑をかける事のないよう無理のない活動を出来ればと思っています。

竹花 治雄

シルバー人材センターに入会して3年目になりました。経験の無い仕事でしたがどうにか慣れたようです。今年は別な仕事も含めて努めて行きます。

菅谷 謙一

のデザインは雲龍図と四字熟語を引用。辰年の3枚を見て頂ければ幸いです。※年賀状ストックブック(50年分保管)は、津波の片付けの中から奇跡的に救出できた私の宝物です。

斎藤 浩三

数10年前、一寸した切っ掛けで畑を借りる事になりました。

見よう見ま似的の畑作業、たいした収穫には至りませんでした。

今では、何とか無農薬での野菜(大根、玉葱、ナス等々)を作っています。

3年前に亡くなった妻、生前、花が好きで花を生けたりしていました。

その頃から種類を増やし(グラジオラス、アスター、矢車草、百日草、ひまわり等)現在に至っています。

お盆には、グラジオラス、ひまわり等、供える様にしています。球根を植える時期、タイミングなど難しい面もありますが、作る喜びもあります。

来年は果物、苺とかスイカを作つてみたいと思っています。

図書館に行ったり、スマホを見たりして自分のコヤシにしている昨今です。

娘や孫達に食べさせ喜んで貰える様、努めて行きます。

何をするにも健康でなければ、何も出来ません。

感謝の気持ちと、一日一日を大切に過ごして行きたいです。

豊間根利昭

歳を重ねるということは、「未知の世界」への冒険だ。

毎日が新しい。冒険を楽しもう。

山口 周

気軽に見学に来てください!

青山 和彦 会員

毎週、月・水・金老木公園で練習  
年数回大会出場

## グラウンド・ゴルフ同好会

毎月楽しみにしています!

藤岡 功 会員



毎月1回開催

各同好会は当センター会員であればどなたでも参加できます。

## 麻雀同好会(いきいき健康塾)

## 一同好会活動紹介

# 会員のひろば

## 匿名希望

来年度の希望・抱負は…先ずは何事をするにも健康第一優先に気を付けて若い20代から趣味として活動しているカメラの趣味の幅を(撮影範囲)を東北地域あるいは、もっと広く活動拠点を広げて行きたいと思います。

今まであたり前と思っていた体の動きも、思考も鈍くなっているのを自覚する日々ですが、その度に「今日より若い日はない!」と気持ちを切り替える日々です。

今年は、いっぱい大笑いできる事があればと願っています。

健康に気を付けて、一日一日を大切に生活していきたいです。

年を取るごとに頭と動きがにぶくなる私の言動に、家族は哀れんだまなざしを時折見せます。  
“年男、成長出来ず六回目”  
それでもめげず明るくなった笑顔で元気にさらに楽しくです!!(笑)



「本当においしいコーヒーを自宅で淹れること」です。コーヒーの香りをかぐとほっと心が落ち着きます。また、コーヒーを淹れる時間は自分と向き合う時間でもあると思います。味を探りながら、うまくいかなかつたとしても、コーヒーを淹れるゆとりを大切にすることで、新たな自分に出会えるような気がしています。

私は現在、学童保育で2~3日、1日5時間、支援員をしています。小学生と折り紙をしたり、外で遊んだり、おやつと一緒に食べたり、土曜日はお弁当の日もあります。

元、幼稚園教諭の経験を生かして、子供たちに接していると、当時のことが一瞬にして蘇ってきます。子供からパワーをもらって、自分が若返って行くを感じます。

まずは、子供たちが生き生き過ごせるよう、事故のないよう、しっかりと接していくたいと考えています。どんな大人に成長するのか思いを馳せるのも、美味しいコーヒーを淹れることも、新たに踏み出している自分が、ここに居るからこそのことだと思っています。

毎日笑顔で過ごします。  
家族が年間健康に過ごせて働けることが、私の抱負でもあります。

健康に気を付けて一年をガンバリたいです。

「辰年」干支の中でも唯一架空の生き物「竜」だが、古代中国では実在すると信じられていた神獣で、権力や隆盛の象徴とされていたようだ。

本年は陽の気が動き万物が振動して活力隆盛になり大きな成長が見込まれる年なのだと。

さて、わが身はと言えば健康診断でメタボ判定を下されて週二のジム通いや通院と、活力隆盛とは真逆にある。昇り竜ならぬ下り竜状態なのかと思っていたら、上り竜とは天に向かいドラゴンボール(如意宝珠)を追い求める姿で、一方の下り竜は手にその球を持ち地上に舞い降りる姿なのだ。

如意宝珠とは意のままに願いが叶う宝のこと。下り竜は上がり下がりではなく降臨の意味を持ち、下がるどころか運気が上がるではないか。

意のままに願い事が叶う一年になるかはともかく、紛争の終結や家族の平安を願いながら希望を持って銀龍(シルバードラゴン)の如く行こう…と思っている。

断捨離・終活に真剣に取り組んで行こうと思っています。  
人生100年時代と言われてはおりますが、周囲を見ますといつ何が起きてもおかしくないと感じます。

我が身に何が起きようとも冷静でいられるように、残す悔いをより少なく出来るように前向きに生活出来ればと思います。

作品を披露し合い、楽しく参加しています。

上坂 初代 会員



毎月第3木曜日開催

宮古市シルバー人材センター  
63-7443  
問合せ先

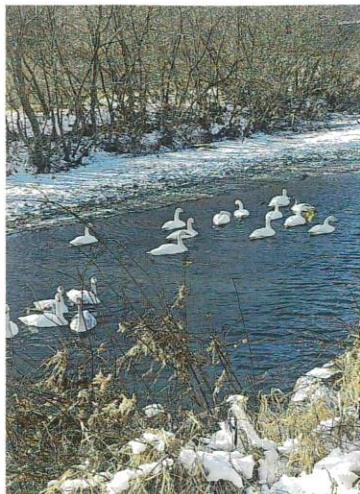


重茂のカモシカ



竜神崎からの宮古港・宮古湾

川柳同好会例会



令和5年12月13日に行われた岩手県シルバー人材センター連合会主催の「令和5年度 女性会員研修会」で当センターの三浦眞知子理事、三河純子理事が女性会員拡大のための事例発表をしました。お二人は日々の就業や活動様子、今後の抱負などを発表しました。

### 配分金の確定申告について

昨年中に、シルバー人材センターから紹介を受け、就業された会員の皆様に支払われた配分金等は、労働派遣としての就労を除き、所得税法上の雑所得（給与所得ではありません）になります。昨年中に就業があつた方には、1月中に「配分金支払証明書」をお送りいたしますので確定申告を行う必要書類としてご利用下さい。なお、所得税の計算方法は、各会員の所得額や扶養親族等により異なる為詳しくは税務署へお問合せ下さい。※労働者派遣事業にて就業されている方は、岩手県シルバー人材センター連合会より給与所得の源泉徴収票が郵送されます。

### 配分金支払日

翌月15日支払、土日、祝日と重なった場合は、翌日営業日は振込日となります。

## 事務局からのお知らせ

### 入会説明会予定日 【令和6年1～3月】

下記の入会説明会予定日をお知り合いの方に「お声掛け」をお願いします。

1月	17日(水)
2月	7日(水) 21日(水)
3月	6日(水) 21日(木)

【会場】  
宮古市地域創生センター内  
毎月第1水曜日と第3水曜日の  
13時15分～  
※但し、祝日と重なった日は翌日  
が説明会です。



会員数 ..... 300名

男性 188名 女性 112名

令和5年12月末現在

公益社団法人  
宮古市シルバー人材センター

〒027-0028  
岩手県宮古市神林3-1  
TEL (0193)63-7443  
FAX (0193)64-3285

### 緊急連絡先 (事務所閉所時)

携帯電話  
090-5840-9687

## 編集後記

新年おめでとうございます。

編集委員として、104号から今回の128号迄25回の編集に携わらせて頂いて参りました。

手探り状態の数号分や、無我夢中だった頃、又ここ数年のコロナ禍に掲載が、皆様のお心まで届けて来られたかどうか個人的には心配ですが、他の編集委員の方々や事務局さん印刷さんのご尽力があつてこれ迄来られた事に只々感謝です。

会報編集委員 太田屋 滋  
三浦 真知子  
岩船 ハナミ  
滋 滋  
眞知子  
ハナミ